

### （開催目的）

地域活性化においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが重要。そのような状況を生み出すために必要となる地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材を全国各地域において育成するため、人材力活性化研究会の構成員が直接赴いて育成することを目的とする。

### 来年度以降の開催計画（案）

○全国を北海道・東北・北陸・関東甲信越・東海・近畿・中国四国・九州沖縄の8ブロックに分けて年に1ブロックにおいて実施することとする（地域バランス重視型）

→前回の研究会における構成員の意見を踏まえ、九州地方において開催することが適当か。  
または、ある程度近隣の地域から受講生が集まりやすい都市地域を検討すべきか。

<（参考）仙台開催に当たり事前に考慮した事項>

- ・全国からの受講生が宿泊できる場所が研修場所又は近隣において確保できること
- ・約100名が余裕をもって使用できる会場を確保できること（直接対話会場の確保も含む）

○若しくは、あらかじめ公募により二つの開催地を柔軟に決定する方式とすべきか（開催地意向重視型）

→開催地を公募することとすべきか。※複数応募があった際には、どのように決定すべきか。

# (参考) 平成28年度 全国地域づくり人財塾 (地方開催 in仙台)

地域活性化においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが重要。そのような状況を生み出すために必要となる地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材を、人材力活性化研究会の構成員が中心となって育成する。

## 開催概要

場所: 仙台国際センター展示棟会議室  
仙台市青葉区青葉山無番地

日時: 平成28年8月1日(月)~2日(火)

定員: 100名 ※当日受講者84名(男性 57人 女性 27人)

対象: 地域づくりに関心のある行政職員・地域づくり団体・NPO関係者

主催: 総務省 (共催)宮城県・仙台市



## 主な研修講師

※人材力活性化研究会構成員を中心に東北地方で活躍する有識者を招聘

飯盛 義徳 (慶應義塾大学SFC研究所所長、総合政策学部教授)

小澤 浩子 (赤羽消防団 副団長)

富永 一夫 (NPO法人 NPOフュージョン長池 会長)

豊重 哲郎 (柳谷自治公民館 館長)

前神 有里 (一般財団法人 地域活性化センター総務企画部クリエイティブ事業室 室長)

牧野 益巳 (日本マイクロソフト株式会社社長室 業務執行役員シチズンシップリード)

松村 豪太 (一般社団法人ISHINOMAKI2.0 代表理事)

<パネルディスカッション・パネリスト>

津軽海峡マグロ女子会 島 康子・(一社) IMPACT Foundation 佐々木 大・(一社) ワカツク 渡辺 一馬

全国地域づくり人財塾  
実践する  
創発をうむ

8/1(月)・2(火)  
1日目 13:30~17:30 交流会予定  
2日目 13:00~16:00 総務省主催パネルディスカッション予定

主催: 総務省  
共催: 宮城県・仙台市  
仙台国際センター  
住所: 仙台市青葉区青葉山無番地  
電話: 022-249-2111(代)

【パネルディスカッション】  
テーマ: 地方創生の本格化と人材育成  
コーディネーター  
東北大学 総合政策学部長 飯盛 義徳  
仙台市 副市長 島 康子  
仙台市 副市長 小澤 浩子  
仙台市 副市長 富永 一夫  
仙台市 副市長 豊重 哲郎  
仙台市 副市長 前神 有里  
仙台市 副市長 牧野 益巳  
仙台市 副市長 松村 豪太  
仙台市 副市長 津軽海峡マグロ女子会 島 康子  
仙台市 副市長 津軽海峡マグロ女子会 島 康子  
仙台市 副市長 津軽海峡マグロ女子会 島 康子

お問い合わせ: 仙台市国際センター 総務課  
TEL: 022-249-2111(代)

## プログラム詳細

### ■8月1日(月)

※1日目の昼食は済ませて、ご参加ください

12:00-13:00 受付  
13:20-13:30 開講・オリエンテーション

#### 13:30-13:45 【導入講義】

『人材力の活性化について』 講師：総務省人材力活性化・連携交流室

#### 13:45-14:40 【講義】

『NPOフュージョン長池の実践～多様で美しい共生の地域を創造する人材とは～』  
NPO法人 NPOフュージョン長池 会長 富永 一夫 氏

#### 14:55-16:05 【講義】

『地域再生～行政に頼らない地域づくり～』 柳谷自治公民館 館長 豊重 哲郎 氏

#### 16:20-17:30 【講義】

『地域づくりマネジメント — つながりをつくり創発を生む仕組みづくり —』  
慶應義塾大学SFC研究所 所長／総合政策学部 教授 飯盛 義徳 氏

#### 18:00-19:30 【交流会】

仙台国際センター内会議室  
参加者間の交流を深める懇親会を開催します(会費制 4,000円)

### ■8月2日(火)

※2日目の昼食は各自でご用意ください  
※施設内カフェ、国際センター駅のカフェは混雑する場合があります  
※施設内に売店、コンビニエンスストアはありません

#### 9:00-10:10 【講義】

『震災を契機とした創造的まちづくりモデル』  
一般社団法人ISHINOMAKI 2.0 代表理事 松村 豪太 氏

#### 10:25-11:55 【選択講義1】

※「講師との直接対話」と「リレー講義」を両方を受講していただけます  
※「講師との直接対話」は、コース①～⑤から1つのコースを受講していただけます(会場の都合により第2希望以降になる場合もあります)

#### 11:55-12:45 昼食・休憩

#### 12:45-14:15 【選択講義2】

※「リレー講義」の受講は必須です(「リレー講義」の内容は【選択講義1】と【選択講義2】同じです)

#### 「講師との直接対話」

下記の①～⑤のコースから1つお選びください。

コース①：飯盛講師	コース④：小澤講師
コース②：富永講師	コース⑤：前神講師
コース③：豊重講師	(各90分)

#### 「リレー講義」(必須)

牧野講師  
『ICTを活用した地域づくり』(45分)  
総務省地域力活性化・連携交流室長  
『地域力創造施策の動向』(45分)

#### 14:30-16:00 【パネルディスカッション】 テーマ：地方創生の本格化と人材育成について

<コーディネーター>	飯盛 義徳	慶應義塾大学SFC研究所 所長／総合政策学部 教授
<パネリスト>	豊重 哲郎	柳谷自治公民館 館長
	小澤 浩子	赤羽消防団 副団長
	島 康子	津軽海峡マグロ女子会
	竹川 隆司	一般社団法人IMPACT Foundation Japan エグゼクティブ・ディレクター
	渡辺 一馬	一般社団法人ワカツク 代表理事

16:00 閉講

## 講師紹介(講義順)

※H28年8月1日現在の役職

### ■特定非営利活動法人 NPOフュージョン長池 会長 富永 一夫 氏

東京都多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンが、ある日突然会社を辞めて地域に戻り、人と人とのつながりが希薄なベッドタウンで少し昔の日本の町ならどこにでもあったような暖かい人間関係を取り戻そうと一念発起。2012年には、緑の都市賞(国土交通大臣賞)を受賞。「都市郊外」の新築住宅地と既存の住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた講師の経験をもとに、どのような点に留意しながら地域活動を展開すべきか、その要諦を講義いただきます。

### ■柳谷自治公民館 館長 豊重 哲郎 氏

柳谷(やねだん)は、鹿児島県肝野平野に位置し、集落ぐるみで豊かな生き方を目指す小さな「むら」です。土着菌を活用した環境保全型農業や生きた福祉活動が高く評価され、第8回日本計画行政学会「計画賞」の最優秀賞受賞。また、「むらづくり日本一」も受賞。全住民参加型の感動の地域づくりを実践している豊重自治公民館館長の経験をもとに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むためのポイントを講義いただきます。

### ■慶應義塾大学SFC研究所 所長／総合政策学部 教授 飯盛 義徳 氏

地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛教授は、実践を通じて地域の元気の具体的な方策を探索されています。そのご経験から、先進事例の成功要因に基づき、「個々の人材の活かし方」「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から講義いただきます。

### ■一般社団法人ISHINOMAKI 2.0 代表理事 松村 豪太 氏

石巻をバージョンアップしたい。震災の前の街に戻すのではなく、新しい未来を作りたい。被災した店の二階に集まった有志たちの思いから「ISHINOMAKI 2.0」は生まれ、合言葉は「世界で一番白い街を作ろう」。古いしがらみは断ち切り、世代や立場を超えて、誰もが主役の未来を作る。プロジェクトや場所やメディアを融合させて、楽しく、遊ぶように未来を作るという観点から講義いただきます。

### ■一般財団法人地域活性化センター 総務企画部 クリエイティブ事業室長 前神 有里 氏

地域包括ケア・高齢者虐待防止を担当したことをきっかけに、地域に深く関わる地域づくりを実践。2011年から地域担当職員となり、市町・地域おこし協力隊・地域の人と地域活性化と地域包括ケアのまちづくりに取り組んできた経験をもとに、公務員が職務経験を地域で生かす・地域での経験を職務で生かすためのポイントを講義いただきます。

### ■日本マイクロソフト株式会社 会長室 業務執行役員 シーズンシップリード 牧野 益巳 氏

地方創生の深化に伴い、地域のICT(情報通信技術)活用を支えるICTリーダーのニーズは、今後ますます高まります。少子化を伴う高齢化社会においては、より少ない労力でより多くの生産物と付加価値を生み出すことが活性化のカギとなります。コミュニティとその担い手、行政と企業とをICTで結ぶ新たな地域協働のポイントと、その先進事例について講義いただきます。

## パネルディスカッション パネリスト紹介(50音順)

### ■赤羽消防団 副団長 小澤 浩子 氏

近年、防災、応急だけでなく、有事における国民保護、災害学習や地域行事等を通じた地域の未来を担う人材の育成、様々な組織や人の連携等においても、消防団への期待はますます高まっています。パネルディスカッションでは、消防団が安全を守ることでまちが育つ、そして、そのまちとともに消防団や地域を担う人材を育てていくという観点からアドバイスいただきます。

### ■津軽海峡マグロ女子会 島 康子 氏

ふるさと大間がNHK連続テレビ小説「私の青空」の舞台となったことをきっかけに、おもしろがる心で地域を元気にする試みを進められています。パネルディスカッションでは、まちおこしゲリラ集団など自ら楽しむ地域活動という観点からアドバイスをいただきます。

### ■一般社団法人IMPACT Foundation Japan エグゼクティブ・ディレクター 竹川 隆司 氏

カタル国の東日本大震災復興基金「カタルフレンド基金」の支援を受け、小中高生、大学生、企業、生産者など、どんな人でも新しいビジネスの創出に向かってチャレンジする「おこす(起こす・興す)人」の支援プロジェクト「INTILAQ」に取り組み。パネルディスカッションでは、起業・事業家養成の観点からアドバイスをいただきます。

### ■一般社団法人ワカツク 代表理事 渡辺 一馬 氏

学生時代に参画したベンチャーサークル・デュナミスを卒業と同時に会社法人化して「世界を変える人材を数多く生み出す仕組みを創る」ことを目的にインターンシップ事業を開始。震災後、一般社団法人ワカツクを立ち上げ、ボランティアやインターンのコーディネート事業を展開。パネルディスカッションでは、若者の挑戦という観点からアドバイスをいただきます。

有料駐車場

【地下駐車場】普通車96台 <料金> 最初の1時間は200円 その後30分ごとに100円

【せんだい青葉山交流広場】普通車66台～346台 <料金> 30分ごとに100円